



やまもり☆ホッとスクランブル  
大和市民活動センターだより

『やまとっこ☆みつけた』



第470回 1/7 (火)

『大和キッズ・ジュニア体操クラブ』(YKJGCトルノワイエ)

出演 代表 関 健寿さん

トルノワイエはフランス語で「まわる・回転する」意味です。代表の関さんは男子新体操の元選手で、大学4年のときは全日本で優勝。その時の海外遠征で最優秀賞を団体国士館大学新体操部として取ったそうです。

一般受付の他 幼児から小学校中学校向けの体操クラブも合わせて活動。練習は、先ず全員で道具を出して並べることから始まり、準備体操として、走る、最近では縄跳び、幼少の子ならスキップ、忍者走りや、ラダー(=はしご)を使って跳んだり走ったりします。体があたまたら、柔軟体操、開脚、ブリッジなど行います。保護者の方には、ケガをしないような補助の仕方をお伝えして、自宅などでも練習できるようにしていること、練習を動画に撮って専用グループアプリで見られるようにしているのが特徴です。

これからの未来を担う子どもたちには体操の楽しさを感じてもらって、体操を通じて身体の動かし方を学び他のスポーツ、パフォーマーなど、運動競技に限定せずに活躍できる人材育成をしていきたいと思っています。



☆2月の出演 第472回 2/4 スタジオソラド 第473回 2/18 NPO法人 大和シルフィードスポーツクラブ

FMやまと 77.7MHz 第1.3.5(火) 生放送 9:00~9:30 同日再放送 15:00~15:30

第471回 1/21 (火) 「大和ウクレレ倶楽部」

出演 講師 山下成司さん 部員 川村佳織さん 佐々木優韻さん

大和ウクレレ倶楽部のメンバーが作詞・作曲の楽しいソング「ウクレレ弾こうよ」とともに放送がスタート。2013年に旧学習センターで、メンバー5~6人で団体を立ち上げました。現在は50~60人。火・水・日曜の午前・午後16つのクラスに分かれて練習しています。

山下さんのポリシーは「音楽は人前でやってなんぼ」だとか。なので、レッスン活動の他に、2月の生涯学習センターまつりと38年続いている3月の音楽フェスティバルに参加し、秋口にクラス別発表会(シリウス3階のマルチスペース)を行います。夏に高座渋谷でチャリティーコンサートに参加するのも恒例になっています。他に、老人ホームや小学校、社協とかから依頼を受けて演奏を届けることも有志でしています。コロナ禍にはその依頼もなく、昨年からはまた増えてきているとのこと

出演者の皆さんから一言。「ウクレレを通してたくさんのお出会いがありました。」「ウクレレの楽しさを知り、音楽は生活を豊かにしてくれる」「ウクレレは最高の歌伴楽器で、笑顔が似合う楽器。笑顔になる機会が増えること、健康で楽しくウクレレが弾き続けられることが願いです」と放送を終えました。



TSUBASA's トーク 第39回 花祭り

地方の農業ボランティアで出会った友人たち4人と、愛知県豊根村(とよねむら)の秘祭「花祭り」に行ってきた。

豊根村は、山に囲まれた寒い場所だと思った。日の照る時間も短くて、祭りの間も焚き火の前から動けず、帰りのレンタカーの中は煙くさかった。また、買い物には車で30分ほどかなり不便も多い。人口も1000人未満で、県の自治体では最も少ない。

1人の友人がそこに住み始めたとき聞いたが、いったいどうして? 僕たちはその友人に会い、祭りを一目見ようと、浜松から1時間半レンタカーをクネクネ運転して村に向かった。夜、神社の隣の建物の土間で、大きな窯で湯を沸かし、それを中心に衣装を着た中学生が舞っている。弾むような小太鼓の音に合わせて、地元の男たちが「テホへ、テホへ!」と声を上げていた。天井から下がった飾りとオレンジ色の明かりは、いかにも地方の最奥のものようだった。

花祭りは、豊根村内の神社で開かれる神楽祭だ。五穀豊穡、厄難除け、生まれ清まり...様々な目的で、村の小学生から大人が、一晩中、舞いを続ける。僕は座敷の端に立って、写真を少し撮ると、ガラス瓶の熱い日本酒を飲みながら舞いを眺めた。「翼くん、顔が赤いよ。大丈夫?」友人が僕をみて笑っている。「平気。赤くなるだけだから。」この2年間、どうだった? ボランティアを終えて2年経っても、こうして会えることが嬉しい。



神楽を前に彼らと喋って、お互いに苦労していることを知った。都会で働いている友人は、寂しさを感じさせるように目を細めて、舞いの先に別の何かを見つめるようだった。

僕らも地元の男たちと一緒に、「テホへ、テホへ!」と声を張り上げた。

明け方、レンタカーで仮眠をとった僕は、祭りの締め「湯囃子(ゆばやし)」が始まるのを待った。建物の土間では、高校生の少年や、酔って顔を赤くした男が、低い声で静かに歌いながら、真剣な表情で腰を落とし、藁を上下させている。

僕は外からそれを眺めながら、昨夜の友人の目を思い出していた。自分も同じような目をしていただろうか。隣で湯囃子を待つ友人を見ても、もうわからない。目を戻そうとすると、突然、男たちの「しあ!」という叫び声が響いた。両手に持っていた藁を窯のお湯につけたかと思うと、それを振り回してお湯をこちらに飛ばし始めた。ぬるくなったしぶきが僕の顔にかかった。子どもが水遊びをするような声が観客から聞こえた。今、僕は横に並んで叫びながら、神楽を全身で楽しんでいる。

現地に住んでいる友人は、祭りの終始忙しそうに見えた。屋上で五平餅を買ったかと思えば、事務所を頻繁に入りに出て、祭りを見ながら村の子供を寝かしつけている。小さい地域でも、多くの人から必要とされているみたい。誰も気づかない地域の面白さをこれからも発掘していきたい。



サポーター 尾畑 翼



大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第211号 発行日: 2025年2月10日

発行: 大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館日 月~土 9:00~18:00>  
<休館日 12月29日~1月3日・毎月第3月曜日>  
〒242-0018 大和市深見西1-2-17

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788  
e-mail:yamato@ar.wakwak.com  
http://www.kyodounokyoten.com/

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決!

あの手 この手

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

第211号 2025年2月10日 大和市民活動センター[拠点やまと] 発行

2月号  
2025

ペテルギウス玄関  
2月5日の生け花



表紙絵は「やまと国際フレンドクラブ(IFC)主催  
やまと国際アートフェスタ 入賞作品を毎月掲載しています

今年度(第17回)のテーマ: 守りたい、平和な世界  
インターナショナル賞受賞  
タイトル「平和の木」

上嶋ラムショウ 天蒼(うえしまラムショウ てお)さん  
中央林間小学校 3年生 英国

☆「やまと国際アートフェスタ」は、「やまと国際フレンドクラブ」(IFC)の主催で毎年開催されています。  
\*「IFC」は、草の根の国際交流、外国人支援を行っている、「ともにくらすまち大和」を考えるボランティアグループです。

ひとことメッセージ

虹を見たら、皆が笑顔になるように、そんな気持ちでかきました。ペットのハムスターもちゃんとかきました。

保護者からの一言

虹が大好き、友達大好きな気持ちがいっぱいあふれている元気な絵になったと思います。

大和市民活動推進補助金公開プレゼンテーション

日時: 3月1日(土) 13時~15時(終了時刻は予定)  
場所: 大和市役所 会議室棟203会議室

市では毎年、社会に貢献する非営利の事業に対して補助金を交付しています。

申請された団体の企画内容を聞いてみませんか?  
来年度、申請を検討している団体はぜひご来場ください。  
活動のヒントが得られるかも知れません。

問い合わせは、大和市 市民活動課(046-260-5103)まで

区分	趣旨	上限額
めばえ	活動をこれから始める、又は始めたばかりの皆さんに対する補助 【団体補助】	5万円
はぐみ	既に活動をしている皆さんがより活動を発展させるための補助 【事業補助】	20万円



# 「あの手この手」表紙から雑感 市民活動の過去、現在、未来 その1

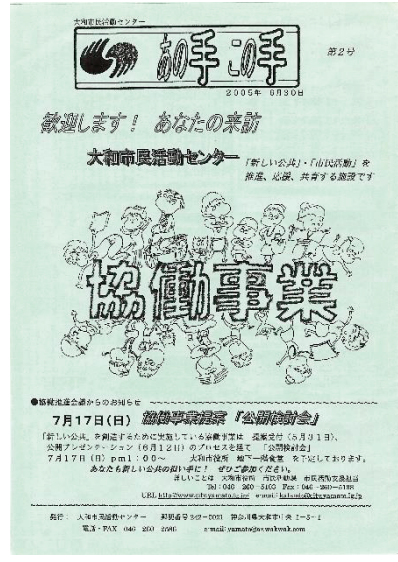


大和市民活動センターは、共に育ち、共に成長する共育(ともい)の場として 2004 年 11 月に誕生した、「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に謳われた「協働の拠点」です。「社会資源の充実を図る」ことが設置の目的でしたが、さまざまな知恵や情報が集積している、集まって来る、「共に育ち合える、みんなが共生するまち大和市」を創っていくための拠点と位置付けられています。以来、これまで、市民活動に関する市民、市民団体、NPO 法人、事業者及び市の交流・共育の推進事業に取り組んでいます。昨年 11 月で、開設 20 周年を迎えました。(現在の「市民活動拠点ベテルギウス」内には、2018 年 4 月に移転)

来たる 2 月 16 日(日)には、設立 20 周年記念交流会「しゃべり場」を市民交流スペースにて開催するとともに、記念誌「大和市民活動センター 20 年のあゆみ」の発行準備を進めています。

その中で、広報紙「あの手この手」は、「あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！」をモットーとして、2005 年 3 月 31 日に発刊され、今号で第 211 号を迎えました。

市民活動センターが 20 周年を迎えるにあたり、昨年も本誌面にて紹介してまいりましたが、今号では過去の「あの手この手」の表紙を紹介しつつ、現状の市民活動の課題などにつながるのか、検証という大きなものではありませんが、雑感を記して、想いを馳せます。



第 4 号(2006 年 1 月 31 日)  
共に育ち！市民活動団体の皆さんと一緒に。「開設 1 周年記念イベント」へのお礼とともに、ティーパーティー「団塊世代のパワーと市民活動」への参加を呼びかけています。  
2007 年に団塊世代が一斉退職。2007 年問題と言われたんですね。その彼らも今年 78 歳を迎えます。

第 2 号(2005 年 6 月 30 日)  
歓迎します！あなたの来訪 大和市民活動センター 「新しい公共」「市民活動」を推進、応援、共育する施設です。  
市役所 1 階食堂で開催する協働事業提案「公開検討会」への参加を呼びかけています。このときのセンター登録団体は 84 でした。



第 9 号(2007 年 7 月 31 日)  
大和市民活動センターはパワフルです。8 月に①市民活動団体の展示、②キャンドルナイト、③工作教室/キッズサロン。「カラを破ろうよ」っていう見出しで、11 月 3 日、4 日に開催するカッコーフェスタ(活動交流フェスタ)の参加団体と実行委員を募集しています。  
今年度のカッコーフェスタ 2024 は、前号の「あの手この手」でお伝えした通り、ベテルギウスまつりの一環として多くの人々が参加して賑わいましたが、実行委員会形式で開催できないかなと思っことも事実です。みんなと「あの手この手」でかわりあうことが課題です。

第 6 号(2006 年 7 月 11 日)  
「市民活動の輪」とよく使われるフレーズを見出しにしていますが、特集では、ティーパーティー「高校生のボランティア活動」を特集しています。現状夏休みに行っている「このゆびとまれっ!」の原点というべきしかけを構築し始めたころでした。当時の高校生ボランティア受入れ団体も 17 紹介しているほか、ボランティアセンターとも連携し、神奈川県教育庁の「ボランティア・パスポート」事業の一翼も担っていたようです。現状も高校生、大学生は市民活動の場に関わることが少ないですが、受験に有利だからではないパッションが根付くといいな。



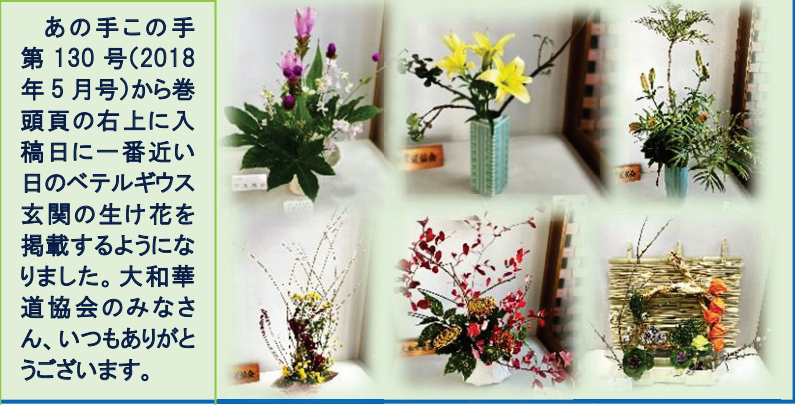
第 15 号(2008 年 4 月 30 日)  
拠点やまが市民活動センターの運営を開始して 1 か月が過ぎました。2008 年度から市民活動センターの運営がそれまでの「協働の拠点運営委員会」から「拠点やまと」に変わったのです。運営するスタッフメンバーも一部入れ替わり、試行錯誤が始まったようですが、市民活動の拠点であることには変わりません。



第 11 号(2007 年 11 月 30 日)  
毎週火曜日「FM やまと」に生出演決定！ SUNNY-SIDEMORNING (9:05~9:25)  
現在の「やまとっ☆みつけた」につながるラジオ番組がスタートしました。市民活動を伝える貴重な定例的なメディア。参加団体の皆さんは出演が決まって緊張気味でした。



今号では、「拠点やまと」が市との協働事業として、大和市民活動センターを担うまでの「あの手この手」の表紙をピックアップして、これまでの「ともい」の取り組みを振り返りました。この特集は、今後の「あの手この手」の中で継続していきます。これからの市民活動、NPO 活動、居場所はどくなっていくのか、未来を担う、わかもの・こどもたちにバトンを渡す大人たちの責任を果たしていきたいと思ひます。  
(編集、文責:船越 英一)



あの手この手 第 130 号(2018 年 5 月号)から巻頭頁の右上に入稿日に一番近い日のベテルギウス玄関の生け花を掲載するようになりました。大和華道協会のみなさん、いつもありがとうございます。

## 第 110 回 共育セミナー (開催レポート)



スティック競技でこどもたちの「孤立」を防ぐ。そして、スポーツを最高に楽しみながら、大和市から世界を目指すプレイヤーを育てる！



スピーカー 佐々木慎吾さん (一般社団法人日本スティック競技振興協会代表理事)

去る 2 月 1 日(土)にスティック競技を大和市内に普及させるとともに、こどもたちを孤立させないさまざまな活動や地域ともつながりを築いていこうと精力的に行動されている佐々木慎吾さんをお招きして、21 名の参加者を得て第 110 回共育(ともい)セミナーを開催しました。当日は、プレイヤーでこどもたちのコーチをされている猿渡成さんにもお越しいただきました。

佐々木さんは、宮城県の高校の卒業生で、アイスホッケーの経験者。競技人口の少ないスポーツの出身だからこそ、社会に出てもその絆は固く、同窓会には多くの OB が集まるとのお話をされました。野球やサッカーのようなメジャースポーツでないからこそということでした。

スティック競技には、佐々木さんが高校時代に経験されたアイスホッケーのほか、フロアボール、ボックスラクロスと種類があるので、スウェーデンでは、右上の写真のように、多くの観衆が集まる人気スポーツということです。

フロアボールは、氷がなくても、みんなが楽しめる競技ということで、佐々木さんは大和市内で地区対抗で実施できるよう普及させたいと夢を語られました。フロアボール以外にも、アートを通したワークショップも開催されているとのこと。後半戦は参加者からの質疑応答となりましたが、佐々木さんがスティック競技を普及させたい想いと覚悟に触れた 2 時間でした。



### フロアボール 地域リーグの構築

お願い

- ①子供が孤立していると思ったら体験会に連れてきてほしい
- ②更に運動能力を高めたい子供がいたら声をかけてほしい
- ③親の孤立も感じたら体験会に誘ってほしい
- ④大和市を盛り上げましょう！！
- ⑤駅の自由通路 大和市管轄→みんなで掃除しませんか？

### 協働事業パネル展を開催します！

大和市は、多様な価値観を認め合い、誰もが自由に健やかに過ごせる地域社会を実現するため、市民や市民団体、事業者と協力し協働事業を実施しています。  
この度 同事業を紹介するパネル展を下記のとおり、実施いたします。

- ① 市役所本庁舎地下 1 階 休憩すぽっと  
日時 2 月 18 日(火)~27 日(木) 8:30~17:15
- ② 市民活動拠点ベテルギウス 1 階 展示コーナー  
日時 3 月 4 日(火)~13 日(木) 9:00~21:00

●問い合わせは、大和市民活動課 046-260-5103 まで

## 1月の展示コーナー

### 切り絵の友



★インドのタージマハール 3 作品ともよいです。お一人の方が 3 点作られたのですか？ ★新しい作品に古き良さを感じました ★みりよくてき ★毎回ダイナミックな作品に感動です!! またいつか体験してみたいな ★こまかくできていてすごい ★阿修羅 迫力あります。観音菩薩素晴らしい! 夜景雰囲気あります。伊達政宗 そうごんな感じ! 郷里を思い出す ★すばらしい作品ばかりで感動いたしました ★仏様、目ぢからがきちんと出ていてすごいです ★切り絵ってすごいわね~ ★迫力満点すごいですね~ ★御仏の顔迫力というかメッセージを送られている気がする。すごい! ★インドの切り絵えぐいてー ★スカイツリーすごーい! いろぬつたもつといい! ★スカイツリーとうきょうタワーがすごいと思ひました! ★すごすぎ ★若い時に切り絵しましたが、今はもう。又やってみたい。特に花 ★かわいいやつやかつこいいうついろいろあった~ ★かつこい ★おなじものでもえのあわかし方でこんなにかわるとは思わなかった ★それぞれの表現でかかれていてちがうよさがあるな!! 思ひました ★らっぴ だいすき